

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:2022年 2月10日

事業所名: 放課後等デイサービス パウム

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○			基準を満たしているが、活動内容(室内アスレチック等の活動)によっては、もう少し広さが欲しいと感じることもある。 コロナ禍前は外部の施設等を利用して補っていたが、再び感染が急増している現状難しく、課題となっている。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		基準以上に人員を配置し、手厚い支援が行えるよう対応している。	現在以上の手厚い支援が行えるように体制を強化していきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○			資質の為、大規模な改修が難しいが、階段の滑り止め等できる範囲での対応を予定している。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			現場職員全員での毎日の打合せ、業務の反省を行い、多くの意見を出し合っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			結果は、ホームページにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		第三者委員会の準備が整っていないのが現状である。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			2週間に一度内部研修を行い、その他、外部研修にも参加できる体制を取っている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的に行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			1人1人に合わせたオリジナルの視覚ツール等を用い、対応している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもの能力やコンディションを考慮し、同じ活動であっても、内容をステップアップさせていく事で、活動に変化を持たせている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			支援できる時間の長さなどに応じて、室内活動だけではなく、課外活動、季節の行事なども取り入れた課題を設定している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			役割分担などを含めた打合せ内容を毎日日報として記録に残している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終了後できなかつた場合も、翌朝に打合せを行い、意見と改善方法を出し合っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日誌に細かく記入するようにしている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			子どもの状態を確認しながら、発展していけるような支援を行っている		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				現在は、常に非常管が一一人の子どもの状況を観察し、また担当指導員からの聞き取りを行った上で担当者会議に参加しているが、今後は担当指導員もサービス担当者会議に参加できるように工夫していきたい。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○				できる限り学校との面談を行って情報共有を図っているが、行事予定や下校時刻の確認等は保護者を通じたものとなっていることが多いため、学校との直接の連絡が取りやすい環境を整えていきたい。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			現在まで医療的ケアが必要な子どもの利用はない。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			新一年生の場合は共有できる ように取り組んでいる	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			現在まで該当者がいなかったが、就労移行等に向けた情報共有の準備は行っている
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				子どもの状況に合わせて報告、助言を受けているが、直接ではなく、保護者を通じたものとなっている。また、センターでの研修は今後取り組むべき課題となっている。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○			以前は少ない機会ではあるが、課外活動や夏祭り等で交流する機会を設けていたが、コロナ禍の現在は検討していない。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			電話、送迎時、連絡帳、面談等で細かな子どもの変化などを伝える等、密に連携を取っている	
保護者への 説明責任等	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			言葉のかけ方、気持ちの理解度等支援を行っている	
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			面談の際に支援の内容は伝え ている	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			その状況に応じた助言を工夫 している	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会を年2回開催している	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			質問などがあった場合は迅速 に対応している	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	35 個人情報に十分注意しているか	○				
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			LINEの導入等利用しやすい ツールを取り入れている	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○			コロナ禍の中では限定された人になるが、地域連携は今後とも継続して いきたい

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			視覚ツールとして、掲示している	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			内部、外部の研修に参加している	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				該当なし
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーのある子どもに対しては、保護者を通し医師からの指示を受けた上で、おやつ等の提供を行っている。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)